



お、わぐ 広報

大和久福祉会だより 第159号

新年のご挨拶

常務理事 菊地 裕子

新しい年を迎えるにあたり、平素より当大和久福祉会の運営に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は午年にあたります。午年は「躍動」や「前進」などを象徴するとともに、周囲との歩調を重んじ、調和を大切にす
る年ともいわれております。多様なつな
がりの中で成り立つ福祉の営みは、大和
久福祉会が掲げる「積極・厳正・調和」
の理念と深く響き合うものであり、その
意義を改めて胸に刻む次第です。地域社
会の中で互いに支え合い、共に歩む姿勢
こそが、福祉の根幹であると考えており
ます。

近年、福祉を取り巻く環境は一層厳し
さを増しております。人材確保の難しさ
や制度改正への対応に加え、昨今の物価
高騰は法人運営に大きな影響を及ぼし
ております。しかしながら、どのような
状況下にあっても、安定した運営を堅持
することが責務であります。そのため
は、関係機関や地域の皆さまと連携を深
め、課題を共有しながら着実に歩みを進
めていくことが不可欠です。また、職員
一人ひとりの自覚と責任ある行動は、法
人の発展を支える基盤であり、組織全体

への信頼にも直結するものであります。

当法人におきましては、利用者の方々が
まが地域の中で安心して暮らせるよう、
日々の支援の質を高め、細部に至るまで
丁寧に向き合う姿勢を大切にしていま
す。同時に職員が働きやすく、生きがい
や達成感を実感できる職場環境の整備
にも引き続き取り組みます。さらに、地
域に根差した社会福祉法人としての責
務を果たすべく、地域社会の課題に真摯
に向き合い、持続可能な福祉の実現に向
けた取り組みを進めていきます。午年の
勢いにあやかり、大和久福祉会がより一
層躍動できる一年となるよう、職員一同
決意を新たにしております。

本年も変わらぬご指導とご支援を賜
りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶
といたします。



地域連携推進会議

今年度より障害者支援施設やグループホームなどの福祉事業所において、サービ
スの透明性の確保、質の向上、ならび
に地域との連携強化を目的とした会議の
実施が義務化されました。

当法人においても七月に地域連携推進
員による施設の見学を実施し、十月には
会議を開催いたしました。推進員には地
域の有識者、保護者、利用者代表の方々
にご就任いただ
いております。

会議では、法人
の風土や整えられ
た環境、支援内容
について高い評価
をいただきました。
この評価に甘
んじることなく、
今後も法人とし
て、より高い支援
の提供に努めてま
いります。

なお、会議録に
つきましては各部
署に掲示しており
ますので、機会が
ございましたらご
覧ください。



大和久福祉会祭

十月二十五日、川俣純子那須烏山市長をはじめ多くの御来賓にご臨席いただき、大和久福祉会祭を開催しました。今年は創立六十五周年の節目の年であり、例年以上に盛大な開催となりました。

午前のステージでは、エレクトーン奏者の倉沢大樹さんによるコンサートが行われ、利用者さんに人気のアニメソングからジャズ、クラシックまで幅広い楽曲を多彩な音色で大迫力の演奏を披露してくれました。当大和久福祉会の園歌をオーケストラやロック調で演奏し、皆で歌う場面もあり、デイスコメドレーでは利用者さんも立ち上がってダンスをするなど会場が一体となって大いに盛り上がりました。

模擬店では、パンや野菜の販売をはじめ、カレーやうどん、おもちゃなども並び、多くの方々が買い物を楽しんでいました。

午後は「小さなサーカス団たらつたらつた」のお二人によるパフォーマンスで幕開けし、ハラハラドキドキする曲芸や愛嬌たっぷりのピエロとの掛け合いに歓声と笑い声が会場に広がりました。そして大トリは那須烏山市出身の演歌歌手藤井ゆみこさんのステージです。藤井さんのオリジナル曲や昭和歌謡メドレー、利用者さんからのリクエスト曲など多彩な楽曲で素敵な歌声と楽しいトークを届けてくれました。

当日はあいにくの天気ではありませんでしたが、利用者さんのたくさん笑顔があふれ、心に残る素晴らしい一日となりました。

那須烏山市障がい者相談支援センター

相談支援専門員 松本 麻美



全国障害者スポーツ大会



十月二十四日から十月二十七日にかけて、第二十四回全国障害者スポーツ大会「わたしが輝く障スポ」が滋賀県にて開催されました。今回、栃木県選手団の一員として、当法人からグループホーム太陽の家の岩淵比佐人さんが陸上競技青年の部・立ち幅跳びおよびソフトボール投げに出場しました。

当日は大勢の観客が見守る中、雨天という厳しいコンディションでの競技となりましたが、ソフトボール投げでは五十五メートル五十七センチの記録で見事二位という好成績を収めました。これまでの練習の成果を存分に発揮した堂々とした姿は、大変誇らしいものでした。

悔し涙や嬉し涙を流す選手、そして応援する人々など誰もが輝いていた素晴らしい大会でした。岩淵選手、誠におめでとうございます。

グループホーム太陽の家

サービスマネジメント責任者 宮内 勝子



保護者会食卓会

感染症の影響により、これまで保護者の皆さまにご参加いただけない形で食卓会を続けてきました。その間も利用者さんが楽しめる時間となるよう、工夫を重ねてきました。今年度はようやく全部署で本来の形式に戻すことができ、九月から十月にかけて、各部署で保護者の皆さまと一しよに会食のひとつを過ごしました。



グループホームでは近隣の飲食店にそれぞれお集まりいただき、食事を楽しましました。大和久学園および大和久育成園では、「なかが和苑」様のお弁当をテイクアウトし、当法人会議室を会場として、和やかな雰囲気の中で食卓会を行いました。

また、保護者会に加入していない学園の子どもたちにも、保護者会の皆様のご厚意によりお弁当を用意していただきました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。利用者さんは、好きなメニューが数多く詰まった豪華なお弁当を嬉しそうにいただいています。

保護者の皆さまのご参加とご理解により、各部署ともに利用者さん、職員双方にとって心に残る楽しい一日となりました。

大和久学園保育士兼生活支援員

伊藤 実咲

敬老会

九月十日、敬老会を開催いたしました。今回は、地域の音楽ボランティア「救急箱」をお招きし、法人全体で敬老のお祝いを行いました。「救急箱」の皆さまによる心のこもったハンドベルの演奏や歌に耳を傾けながら、敬老を迎えられた利用者さんは一緒にハンドベルを鳴らしたり、身体を動かしたりと楽しく温かなひとときを過ごしました。

改めまして皆様のご長寿とご健康を心よりお祝い申し上げます。
大和久育成園 けやき サービス管理責任者
板倉 巽



総合防災訓練

十二月二十二日、大和久福祉会全体による総合防災訓練を実施しました。本訓練は、有事に備え毎年二回実施しています。

今回は、大和久育成園こぶし利用者居室内のコモンセンターからの出火を想定し、初期消火訓練をはじめ、消防署への通報訓練、避難誘導訓練を行いました。職員はもちろん、利用者さんも真剣な面持ちで訓練に臨み、緊張感を持って取り組むことができました。

また、避難訓練終了後には、煙体験ハウスによる体験や実際に消火器を使用した消火訓練も実施しました。

毎回お忙しい中、那須烏山消防署の方々にお越しいただき、訓練の観察や助言、改善点等をご指導いただいております。今回の訓練で学んだことを活かし、今後も利用者さんの安全を守るため、継続して防災訓練に取り組んでまいります。

グループホームサルビア係長 吉川 卓



瀬尾さん
瑞宝双光章受章

このたび、当大和久福祉会職員でホーム陽だまり生活支援員の瀬尾勝さんが、秋の叙勲において「瑞宝双光章」を受章されました。

瀬尾さんは、四十七年にわたり当法人に尽力され、社会福祉分野での顕著な功績が高く評価され、栄えある受章となりました。日々の誠実な取り組みと熱意が、社会に大きな貢献をもたらした証です。

職員一同、心からの祝意を表するとともに、今後のますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。瀬尾さん、本当におめでとうございます。



寄贈ありがとうございました

公益財団法人ALS OKありがとう運動財団様より福祉車両をご寄贈いただき、令和七年八月二十五日に寄贈式が執り行われました。

今回ご寄贈いただいた車両はワゴンタイプで、最大八名まで乗車可能です。

今後もより一層安全運転に努め、支援の充実を図るため、大切に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



社会福祉法人松の花基金様よりご支援をいただき、法人園庭にベンチ五台を設置することができました。

利用者の皆さんが散歩の休憩中にジューズを楽しんだり日向ぼっこをしたりするなど、屋外での活動の幅が広がります。心より感謝申し上げます。



寄贈・寄付

令和7年8月1日～
令和7年12月31日

敬称は省略させていただきます。
皆様のご厚意ありがとうございます。

- ・公益財団法人ALSOKありがとう運動財団(東京都港区) ニッサンセレナ
- ・池尻 昭一(那須烏山市) 金410,000円
- ・大島 桃乃(宇都宮市) かぼちゃ、なす
- ・福田 千江子(鹿沼市) 玄米
- ・堀江工務店(那須烏山市) プリン
- ・(株)玉ちゃん餃子(那須烏山市) 餃子
- ・日光東照宮(日光市) 菓子

- ・若林 言幸(日光市) 米
- ・渡辺 みゆき(那須烏山市) 絵本、絵画
- ・高瀬 安弘(日光市) 燻炭
- ・匿名(那須烏山市) 金100,000円
- ・田端 謙一(神奈川県横浜市) 金1,000,000円
- ・(有)トクサン工業(日光市) 和菓子
- ・社会福祉法人松の花基金(東京都中央区) ベンチ5台

発行責任者

那須烏山市南大和久956-2
社会福祉法人 大和久福祉会
施設支援施設長 菊地裕子
後援 大和久福祉会後援会
大和久福祉会保護者会
TEL 0287-88-2041
FAX 0287-88-9696
Email oowagu2041@proof.ocn.ne.jp

広報紙編集委員会

今年の干支は「午年」、さらに六十年に一度の「丙午」の年でもあり、陽気さと勢いをあわせ持つ、情熱的な一年といわれています。新しいことに挑戦したり、これまで温めてきた計画を実行に移したりするのに適した年だそうです。私自身、挑戦することがあまり得意ではありませんが、この機会に以前から気になっていたことにも一歩踏み出してみようと思います。皆さまにとっても、情熱あふれる実り多い一年となりますよう願っております。



編集後記